



教科書の歴史学習に、花巻との「つながい」を、少しでも添えてみてはどうでしょう？

参勤交代と花巻城

今回は、近世花巻の中心地だった花巻城整備の背景や参勤交代での役割などを簡単にご紹介します。

豊臣秀吉の奥州仕置により、稗貫・和賀氏の領地がほぼ南部領に組み込まれ（一部は伊達領）、南端の花巻に花巻城が整備されました。鬼柳と相去を境として南は伊達領（仙台藩）のため、藩境の警備が花巻城の重要な役割の一つでした。武芸に注力したので、優秀な武芸者の輩出地となりました。

3代将軍の家光は、武家諸法度を改めて、大名が領地（藩）と江戸を1年おきに行き来する参勤交代の制度を定めました。さらに、大名の妻や子どもは、人質として江戸に住まわせるようにしました。【以下略】

小中学校の社会科の教科書は、全国の歴史を中心に記述が進みます。ただし、花巻の歴史も全国の歴史につながっています。それを子ども達に知らせながら授業を進めれば、子ども達の興味関心を高めることができるかもしれません。



花巻城の形状と市役所周辺地図

また、左の文は、小学校6年生の社会科の教科書に記載されている大名統制システムが整えられた部分の記述です。

盛岡藩（南部領）の藩主も江戸への参勤交代を行いました。盛岡を出発し、約40km歩いて最初の宿泊地が花巻城でした。藩主来城の際は、城の責任者をはじめ、町の代表者たちが出迎えました。

ある年の参勤交代で藩主に出された食事は、蕎麦と美濃魚でした！



盛岡藩参勤交代図巻（複製 部分）…中央の駕籠に乗っているのが藩主

お知らせ

花巻城や参勤交代については当館の常設展示室でも展示・解説しています。花巻城を中心とした出前授業も可能です。見学・出前授業についてご検討をお願いします。

江戸初期には800人規模の行列でしたが、徐々に減少し、1808年には300人余りになりました。

裏面へ続く

令和7年度花巻市博物館

特別展

佐川美術館コレクション

9/6 土から始まる特別展の
内容をご紹介します。

平山郁夫展

9.6 出 ▶ 11.3 月祝

悠久の歴史を訪ねて—

第1章 シルクロードのはじまりの地 ヨーロッパ～西アジア

平山氏が生涯を通じてライフワーク
とした旅を始めるきっかけとなった、
ヨーロッパからイラク、アフガニスタ
ンなどの西アジアを描いた作品を紹介
します。

作品…「月下シルクロードを行く」
「ポンペイ壁画幻想(1)」など



平山郁夫氏（1930-2009）

第2章 文明の十字路 中央アジア～南アジア

東西文化が交わり、悠久の歴史を物
語る中央・南アジアを舞台とした作品
を紹介します。

作品…「タージ・マハル」
「ガンジス河畔」など

第3章 西域

古代都市・楼蘭、世界最大規模の仏
教遺跡・敦煌など、厳しい自然環境の
もと、独自の文化が育まれた西域の光
景が描かれた作品を紹介します。

作品…「西域砂漠行」
「敦煌莫高窟」など

第4章 悠久の大地 中国

仏教に救いの道を求めた平山氏の画
業を支え続けた悠久の大地・中国の作
品を紹介します。

作品…「明けゆく長安大雁塔」
「無錫翠煙」など

第5章 シルクロードの終着点 日本

四季折々の表情を見せる自然や寺
院の姿を中心に、ふるさと日本の風景
を紹介します。

作品…「木の間の釈迦堂 比叡山延暦寺」
「法隆寺」「浄瑠璃寺」など

特別展示

さいいき いぶん

宮沢賢治「西域異聞三部作」自筆原稿（複写）

宮沢賢治は、仏教の教えをテーマに西域を意識した童話を
創作しています。上記三部作は、それぞれ個別で完結しま
すが、西域を舞台とした壁画などのモチーフや、華嚴經の
教えに基づいた表現が随所に用いられているところが共
通し、連続した童話と読み取ることができます。賢治は、
20世紀初頭に盛んに行われた西域探検に関する著作から
情報を得るなどし、西域の文化や歴史に興味を持っていた
のではないかと考えられます。

本展では、第3章で、これら三部作の複写原稿を展示し
紹介しています。

『マグノリアの木』
『インドラの網』
『雁の童子』